

日時：平成 27 年 6 月 8 日(月)14：30～

場所：美瑛町 四季の情報館

平成 27 年度 大雪山国立公園表大雪地域 登山道関係者による春季情報交換会

次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 情報交換
 - ・ 各団体の今年度活動予定について
 - ・ 大雪山登山道管理水準の改定について
 - ・ 登山道整備技術指針の改定について
4. その他
5. 閉会

平成27年度 大雪山国立公園表大雪地域 登山道関係者による春季情報交換会
出席者名簿

平成27年6月8日

所属	出席者
上川中部森林管理署	
上川南部森林管理署	
上川総合振興局 環境生活課	
上川総合振興局 南部森林室	
富良野市	
上川町	
東川町	
美瑛町	欠席
上富良野町	
南富良野町	欠席
旭川山岳会	
旭川勤労者山岳連盟	欠席
上川山岳会	
美瑛山岳会	
上富良野十勝岳山岳会	欠席
富良野山岳会	
勤労者山岳連盟(道央地区)	欠席
自然公園指導員	
旭岳ビジターセンター	欠席
層雲峡ビジターセンター	
北海道山岳ガイド協会 東大雪地区連絡調整室	
大雪山国立公園研究者ネットワーク	
北海道大学大学院	
山のトイレを考える会	
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	欠席
株式会社りんゆう観光(層雲峡事業所)	
ワカサリゾート株式会社(旭岳ロープウェイ)	
東川エコツーリズム推進協議会	欠席
(有)風の便り工房	
北海道山岳整備	
山樂舎BEAR	
大雪山倶楽部	
ガイドオフィス 風	
ガイドの山小屋	
TREE LIFE	欠席
黒松内 銀竜草の会	欠席
大雪と石狩の自然を守る会	
北海道高山植物ネット	欠席
有限会社アグリテック	欠席
NPO法人 大雪山自然学校	
NPO法人かむい	
NPO法人アースウィンド	
ガイドの山小屋	
北海道地方環境事務所 国立公園課	
上川自然保護官事務所	
東川自然保護官事務所	

大雪山国立公園 表大雪 登山道関係者による情報交換会
平成27年度 登山道作業(活動)予定

所属	活動予定地	活動予定時期	平成27年度計画
環境省 上川自然保護官事務所 東川自然保護官事務所 上士幌自然保護官事務所	別紙の通り ※資料2		
上川中部森林管理署	黒岳、赤岳、緑岳、ニセイカウシュッペ及び周辺国有林	6月中旬～10月上旬	・黒岳、赤岳、緑岳周辺を重点的に、森林巡視活動及び、普及啓発活動 ・一部歩道の請負による除草作業
上川南部森林管理署	十勝岳、原始ヶ原等	6月～9月	巡視、啓蒙活動
上川総合振興局 環境生活課	別紙の通り ※資料3		
上川総合振興局 南部森林室	旭岳	7月～9月	森林巡視活動及び普及啓発活動
富良野市			
上川町	別紙の通り ※資料4		
東川町			
上富良野町			
旭川山岳会	協働型維持管理作業のうち、日曜日に実施される作業(8/23, 8/30)に、2・3名の会員を参加させて頂く予定。他に美瑛山岳会整備作業のサポートも検討中。		
上川山岳会			
美瑛山岳会	別紙の通り ※資料5		
富良野山岳会	原始ヶ原林間・沢コース	夏以降	草・笹刈りと枝払い
層雲峡ビジターセンター	通年 層雲峡周辺、6月～10月黒岳、赤岳、緑岳など		
大雪山国立公園 パークボランティア連絡会	別紙の通り ※資料6		
大雪山国立公園 研究者ネットワーク	別紙の通り ※資料7		
北海道大学大学院	・登山道管理水準及び新たな登山道の利用 ・登山道管理水準及び新たな登山道の利用(トレイルラン・ドローンなど)に関する意識調査 ・対象:登山道管理関係者及び登山者 ・調査時期 登山者8月～9月、関係者10月以降 東日本林業経済研究会 2015年9月24日(木)午後～25日(金)午前 テーマ:地域社会と自然観光資源の管理:登山道管理を事例として		
山のトイレを考える会	美瑛富士トイレ管理連絡会により、美瑛富士の携帯トイレブースの清掃パトロールの実施 ・6/28(日)…携帯トイレブース設置(環境省、山のトイレを考える会) ・7/12(日)…白老山岳会 ・7/19(日)…日本山岳会・7/26(日)…札幌山岳連盟 ・8/8(土)…北海道山岳連盟 ・8/23(日)…道北勤労者山学連盟 ・9/6(日)…道央勤労者山岳連盟 ・9/15(火)…北海道山岳ガイド協会 ・9/27(日)…携帯トイレブース撤収(環境省・山のトイレを考える会)		
株式会社りんゆう観光			
ワカサリゾート株式会社			
(有)風の便り工房	※資料持参 高原温泉沼コース	8/1 資材搬送とヒグマ生態観察実施。コースの木材使用の予定箇所(7～10箇所)に搬送し、集積する。全資材を搬送する人員が集まるかどうか不明な事と現地の集積スペースに若干問題有りなので、センタースタッフに分散してもらうか検討中。	
北海道山岳整備			・近自然工法による登山道整備及び啓蒙活動 ・月1～2日程度で登山道整備等のボランティア活動
山楽舎BEAR	別紙の通り ※資料8		
大雪山倶楽部			

ガイドオフィス 風	大雪山全域		登山ガイドで現況の説明や管理水準について解説予定。
北海道山岳ガイド協会 東大雪地区連絡調整室			
ガイドの山小屋			
大雪と石狩の自然を守る会	・6／21、6／28 西ヌプカウシヌプリ ・7／12、7／19～7／20 黒岳、桂月岳、雲の平、北鎮岳 ・7／26、8／2 沼ノ原 ・9／6、9／13 旭岳、当麻乗越、愛山溪 ・1／17、1／24 糠平湖 大雪山講座「ひぐま大学」観察及びフィールド講座		
NPO法人 大雪山自然学校	姿見園地、旭岳野営場	5月20日～ 11月15日	レクチャー、登山道整備、清掃、パトロール
NPO法人かむい	大雪山全域	通年	・エコツアー及びガイド業務 ・登山道整備及びパトロール
NPO法人アースウィンド			
北海道山岳ガイド協会 池永 甦次	旭岳周辺	全期	山岳ガイド:旭岳周辺、利尻山、知床 自然ガイド:山スキー、アルペンスキー 旭岳周辺
黒松内 銀竜草の会		8月～9月	一般登山者参加型のプログラムに参加も検討中。
(有)自然環境コンサルタント		7月～9月のうち 1, 2回	黒岳トイレ清掃ボランティア

北海道地方環境事務所にて実施する平成 27 年度国立公園関連事業

山岳関係事業

①主な施設整備・維持管理事業

【山岳部】

- ・沼ノ平～姿見の池、層雲峡勇駒別線、沼ノ原、トムラウシ登山道の巡視及び修繕
- ・表大雪 登山道標識実施設計
- ・白雲岳避難小屋 基本計画

【山麓部】

- ・層雲峡園地 園地整備（上川管内）
- ・勇駒別博物展示施設 実施設計（東川管内）
- ・天人峡園地 橋梁整備実施設計（東川管内）
- ・糠平園地景観再生 園地整備（上士幌管内）

②主なグリーンワーカー事業

- ・高山蝶重点パトロール

残雪期を含む高山蝶パトロール事業

- ・登山道維持業務（東川管内）

美瑛富士登山道、原始ヶ原（滝コース）の補修事業やササ刈り・倒木処理事業

- ・美瑛富士携帯トイレブース利用状況調査

美瑛富士避難小屋に設置する携帯トイレブースの利用状況調査及び今後の方向性の検討

- ・東雲湖利用適正化調査（上士幌管内）

東雲湖周辺の歩道や展望地、東雲湖岸に至る踏分道において、利用実態、土壌洗掘や植生への影響について実態調査

- ・リモコンヘリ利用適正化対策業務

ドローンの使用に関する地域ルールが設定された際の普及啓発事業

- ・登山道利用状況調査（上川、東川、上士幌各管内）

登山者カウンター設置及び精度確認による入山利用者の把握事業

③パークボランティア活動事業

パークボランティア連絡会提供資料による

④自然ふれあい事業

- ・国立公園を核とした情報発信モデル事業（東川管内）

平成 28 年に山の日が制定されることを受けた“プレ”イベント（講演会）の実施

その他国立公園関連事業

①グリーンワーカー事業

- ・清掃活動事業（上川、東川、上士幌各管内）

層雲峡、勇駒別、糠平、十勝三股の集団施設地区、利用拠点の美化清掃事業

- ・高原温泉自動車利用適正化対策業務（上川管内）

マイカー規制の適正化のための利用実態調査事業

- ・スノーモビル対策事業（上川、東川、上士幌各管内）

大雪山系全体の飛行監視、乗り入れ頻度の高い箇所での地上パトロール

②自然ふれあい事業

- ・エコツーリズムモデル事業（上川管内）

高原温泉地区、層雲峡地区等における自然景観資源の活用に関する調査及びエコツアーのモデル事業の実施

- ・国立公園の自然教育フィールドへの活用事業（東川管内）

学級単位の受け入れに対応した旭岳温泉探勝路及び姿見園地の活用方法の検討

- ・外国人来訪者受入れ事業

1. ビジターセンターへの外国語対応スタッフの配置（上川管内）

層雲峡ビジターセンターに外国語対応スタッフを配置し、案内業務、館内展示解説、利用者意向の聞き取りなどを行う。

2. 外国人利用者受入環境整備方策検討調査（上川管内）

層雲峡集団施設地区を対象として、外国人に提供可能なサービスの把握と、外国人来訪者の意向確認を行い、サービスのマッチングを図るための調査を実施する。

③野生生物の保護管理事業

- ・外来種対策事業（上川、東川、上士幌各管内）

セイヨウオオマルハナバチ防除事業（パークボランティア活動と連携）

表大雪地域におけるセイヨウオオマルハナバチ対策の検討

然別湖ウチダザリガニ防除事業

- ・国指定鳥獣保護区管理（上川、東川各管内）

高原温泉ヒグマ情報センター、白金野鳥の森休憩舎及び観察舎の管理

高原温泉地区を中心とした表大雪のヒグマ保護管理方針の検討

大雪山国立公園における主な活動予定

北海道上川総合振興局

■ H27 地域戦略プロジェクト

□ 自然観察会

- 1 目的：山岳トイレや登山道侵食等の問題を認識するという環境保全意識の醸成を図り、高山植物や広大な風景などの魅力もPRする自然観察会を実施する。
- 2 対象：登山初心者を中心とした一般公園利用者
- 3 人数：各 10 名
- 4 実施内容
一般ツアーと重複しない様、環境保全を中心とした内容にする。
(高山植物・山岳トイレ・登山道の荒廃等についての事前レクチャー・施設概要説明・維持管理作業及び啓発活動等の実施)

日 程	コ ー ス		ガイド
6/27(土)	富良野岳	十勝岳温泉登山口 → 富良野岳山頂 → 往復	中川 伸也 氏 (Natures 代表)
7/18(土)	旭岳周辺	旭岳ロープウェイ → 姿見の池 → 裾合分岐 → 中岳温泉 → 往復	佐久間 弘 氏 (山楽舎 BEAR 代表)
8/8(土)	美瑛富士	美瑛富士登山口 → 避難小屋 → 美瑛富士山頂 → 往復	双樹 智道 氏 (ハローポーター所属)
9/12(土)	黒 岳	黒岳ロープウェイ → 7 合目 → 黒岳山頂 → 黒岳石室 → お鉢平展望台 → 往復	濱田 耕二 氏 (NPO 法人カムイ代表)
9/26(土)	天人峡第一公園	天人峡温泉登山口 → 滝見台 → 第一公園 → 往復	大塚 友記憲 氏 (東川エコツーリズム推進協議会所属)
1/23(土)	天人峡くるみの沢 (スノーシュー)	天人峡くるみの沢入口 → 森の神様 → 往復	鳥羽 晃一 氏 (ガイドオフィス風代表)

□ 登山道保全技術セミナー

- 1 目的：利用者の増加や降雨等により登山道の浸食及び荒廃が進んでおり、環境保全及びそれらによる事故の可能性を軽減するという点も踏まえて登山道保全技術セミナーを行う。
- 2 日 程：9 月 6 日 (日)
- 3 対 象：山岳会、関係行政機関等の山岳関係者
- 4 講 師：岡崎 哲三 氏 (北海道山岳整備代表)
- 5 人 数：25 名程度
- 6 内 容：旭岳姿見の池園地歩道補修を通して講師から保全技術を学び、今後の補修へつなげる。

■ 平成 27 年度黒岳トイレ維持管理作業実施予定

- 1 供 用 開 始 : 6 月 25 日(木)
- 2 清掃作業予定日 : 7 月 16 日(木)、7 月 28 日(火)、8 月 11 日(火)、8 月 25 日(火)、
9 月 12 日(土)(地域戦略プロジェクト事業で実施予定)、9 月 30 日(火)
- 3 供 用 終 了 : 10 月 1 日 (水) へりによる屎尿荷下げ及び翌年度資材荷上げ

■ 高山植物保護対策事業

高山植物盗掘防止パトロール

日 程	実施場所	参加者 (予定)	備 考
	富良野岳	山岳ガイド、一般参加者、振興局	地域戦略プロジェクト外事業で実施地
	姿見の池～裾合平～中岳温泉	山岳ガイド、一般参加者、振興局	地域戦略プロジェクト外事業で実施
	銀仙台、赤岳～小泉岳	環境省上川自然保護官事務所、上川中部森林管理署、上川町、上川山岳会、振興局	

(4) 平成27年度事業計画について

①黒岳トイレの管理運営について

黒岳トイレについては、オーバーユース状態となっており、協力金徴収（前年度実績50%）等々の課題解決を関係機関と協議の上、最善策を見出すことに努める。

特に安定的な維持管理費を確保するため、協力金徴収率の向上が必要であり、各所にポスターの掲示やチラシ配布（備え置き）を行い周知する。また、ポータブルトイレの利用拡大のための方策を検討し、繁忙期の17日間については、黒岳石室管理人により協力金の呼びかけ等を行い徴収率の向上に努める。

②白雲岳避難小屋の管理運営について

白雲岳避難小屋については、平成21年度に減少した利用者が回復傾向にあり、登山ルート的重要施設であることに鑑み、2名の管理人を配置し、登山者の安全確保と自然環境保護の啓発を図る。

③自然保護巡視事業について

自然保護巡視事業は、高山植物の盗掘防止と利用者の安全と環境保護のため、上川町・りんゆう観光・高原山荘が負担し巡視員を確保し事業を展開する。

今年度も、昨年同様、黒岳1名、銀泉台2名、高原温泉1名の4名の巡視員を配置し事業実施に当たる。

④リモコンヘリの使用制限について

急速な普及が見込まれるリモコンヘリを使用しての撮影については、野生鳥獣の保護等のため今年度から地域ルールとして夏山シーズン（6月～10月）の間、大雪山国立公園上川地区内での使用制限を行う。ただし、調査研究等を行う場合は申請行為により撮影ができることとする。

<総会にて>

※リモコンヘリの件については、官邸の着陸に端を発し問題視されている。国の状況を見極め検討していく。

(4) 平成27年度事業計画について

①黒岳トイレの管理運営について

黒岳トイレについては、オーバーユース状態となっており、協力金徴収（前年度実績50%）等々の課題解決を関係機関と協議の上、最善策を見出すことに努める。

特に安定的な維持管理費を確保するため、協力金徴収率の向上が必要であり、各所にポスターの掲示やチラシ配布（備え置き）を行い周知する。また、ポータブルトイレの利用拡大のための方策を検討し、繁忙期の17日間については、黒岳石室管理人により協力金の呼びかけ等を行い徴収率の向上に努める。

②白雲岳避難小屋の管理運営について

白雲岳避難小屋については、平成21年度に減少した利用者が回復傾向にあり、登山ルート的重要施設であることに鑑み、2名の管理人を配置し、登山者の安全確保と自然環境保護の啓発を図る。

③自然保護巡視事業について

自然保護巡視事業は、高山植物の盗掘防止と利用者の安全と環境保護のため、上川町・りんゆう観光・高原山荘が負担し巡視員を確保し事業を展開する。

今年度も、昨年同様、黒岳1名、銀泉台2名、高原温泉1名の4名の巡視員を配置し事業実施に当たる。

④リモコンヘリの使用制限について

急速な普及が見込まれるリモコンヘリを使用するの撮影については、野生鳥獣の保護等のため今年度から地域ルールとして夏山シーズン（6月～10月）の間、大雪山国立公園上川地区内での使用制限を行う。ただし、調査研究等を行う場合は申請行為により撮影ができることとする。

<総会にて>

※リモコンヘリの件については、官邸の着陸に端を発し問題視されている。国の状況を見極め検討していく。

平成 27 年度十勝岳連峰ほか美瑛町管内登山道等整備活動の予定

美瑛山岳会実施分

○環境省グリーンワーカー事業（美瑛地区協働型登山道維持業務）

- ・美瑛岳登山道補修用資材荷揚げ及び登山道補修

美瑛岳分岐上部約 200m 区間に角材等で階段工・床止工を施工 8 月 30 日

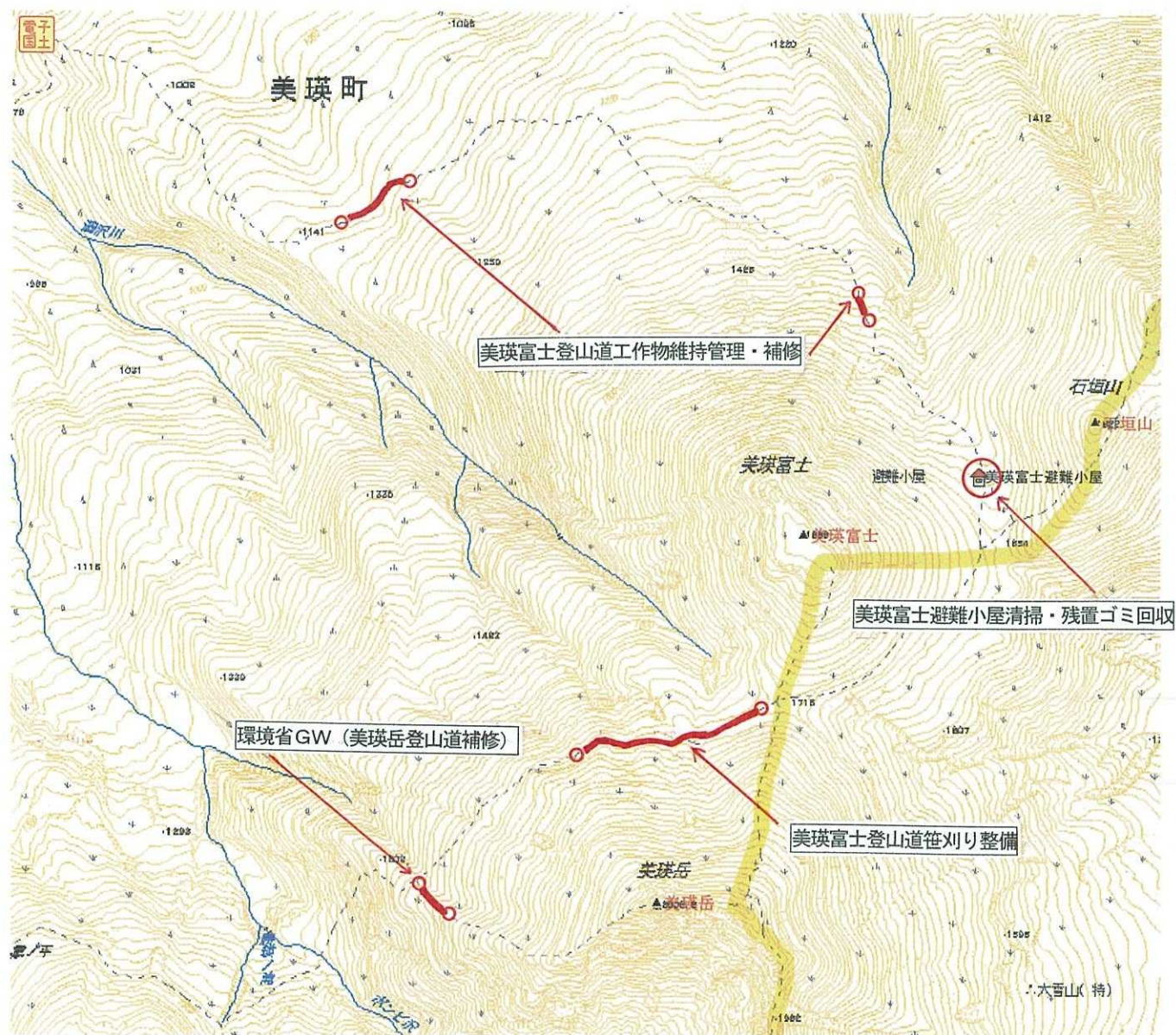
○上川中部森林管理署との協定事業（国民参加の森林づくり事業）

- ・十勝岳登山道規制・保護ロープ着脱（避難小屋上部、十勝岳頂上直下 450m）6 月・9 月
- ・十勝岳登山道補修・保護ロープ設置（望岳台園地上部周辺 150m）6 月
- ・十勝岳避難小屋防災資材収納棚設置 6 月 5 日
- ・美瑛富士避難小屋残置ゴミ回収 8 月
- ・美瑛岳登山道北向沢渡渉点補修（鉄製ハシゴ・登下降用ロープ維持点検・側道補修）7 月
- ・美瑛富士登山道笹刈り整備（涸沢川源頭周辺 1.0 km）7 月
- ・美瑛富士登山道補修（簡易木道維持管理・導流工）9 月

○その他の補修（継続事業）

- ・天人峡化雲岳登山道ハイマツ処理（第二公園上部～ポン沼周辺 1.5 km）8 月 1 日





平成27年度PV活動年間計画

日 程	場 所	行 事	内容等
4 月 14 日 (火)	東川RH	○4 月役員会	18 時～
5/9 (土)～10 (日)	十勝岳温泉	○5 月役員会 ○連絡会総会 (十勝岳温泉凌雲閣)	1 日目：総会 2 日目：春山研修
5 月 15 日 (金)	上川町	○運営協議会総会	
5 月 18 日 (月)	士幌町	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6 月 2 日 (火)	東川RH	○6 月役員会	18 時～
6 月 13 日 (土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ 補強、清掃
6 月 21 日 (日)	旭岳山頂～間宮岳	●登山道整備	ロープ 補強、清掃
6 月 19 日 (月)	ぬかびら・扇ヶ原周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6 月	表大雪・十勝岳連峰	●高山蝶重点パトロール	現地重点パトロール
6 月 17 日 (水)	層雲峡温泉	●外来種防除活動 (ルピナス等)	防除活動
7 月 1 日 (水)	東川RH	○7 月役員会	18 時～
7/3 (金)～5 (日)	ヒサゴ沼避難小屋	●登山道整備	ロープ 補強、清掃
7 月 14 日 (火)～17 日 (金)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	ザリガニ防除
7 月 26 日 (日)	旭岳裾合	●登山道整備	ロープ 補強、清掃
7 月 27 日 (月)～28 日 (火)	雲の平	●登山道補修作業	資材運び
7 月 30 日 (水)	愛山溪	●登山道整備 ※愛山溪地区	登山道ササ刈り
8 月 1 日 (土)	高原温泉沼巡りコース	●登山道整備	木道資材運搬、生態調査
8 月 2 日 (日)	大雪山全域	●自然公園クリーンデー 層雲峡温泉・旭岳温泉・白金温泉・天人峡温泉・ぬかびら温泉 (ぬかびらは 7 月に実施予定)	清掃活動
8 月 4 日 (火)	東川RH	○8 月役員会	18 時～
8 月 11, 13, 18, 20 日	旭岳周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動週間	防除活動
8 月 11 日 (火)	十勝三股	●植生復元	下草刈り
8 月 21 日 (木) 28 日 (木)	銀泉台入口～コマクサ平	●外来種防除活動 (オオハンゴンソウ、フランスギク、セイヨウオオマルハナバチ等)	防除活動
8 月 26 日 (水)	沼ノ平	●湿原植生再生	種子採取等
8 月 27 日 (木)	裾合平～中岳	●センサー工・ヤシ土嚢設置	登山道補修資材設置
8 月 29 日 (土)	美瑛富士避難小屋	●携帯トイレブースパトロール	清掃パトロール
9 月 1 日 (火)	東川RH	○9 月役員会	18 時～
9 月 4～6 日	ヒサゴ沼 忠別避難小屋	●登山道整備	ロープ 緩め、清掃
9 月 11 日 (金)	沼ノ平	●植生復元	播種
9 月 12 日～27 日	高原温泉沼巡りコース、 赤岳銀泉台	●マイカー規制対応 ※土日祝日＋平日 2 日程/週	自然解説活動、 受付補助
9 月 26 日 (土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ 緩め、清掃
9 月 27 日 (日)	旭岳山頂・裾合	●登山道整備	ロープ 緩め、清掃
10 月 6 日 (火)	東川RH	○10 月役員会	18 時～
10 月中旬	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動
10 月中旬	三股周辺	●植生復元	稚樹の掘り取り
1 月中旬	旭川市内	○1 月役員会および新年会	
2 月中旬	場所別途	○冬期研修会	
2 月～3 月上旬	愛山溪他	●スノーモビル等乗入れ規制合同パトロール、重点パトロール	
年間		●事務所行事への協力 (観察会・フォーラムなど) ●層雲峡 VC における来館者への自然解説等 ●協働型維持管理の協力 ●登山道情報交換会、登山道講習会等へ	

		の出席	
--	--	-----	--

平成27年度協働型維持管理支援 スケジュール

日 程	場 所	行 事	内容等
5月20日(水)、 26日(火)	然別湖	◇登山道整備	登山道笹刈り
6月8日(月)	美瑛町	○表大雪地域登山道関係者による情報交換会	
6月26日(金)	十勝管内	○東大雪地域登山道関係者による情報交換会	
6月23日(火)	朝陽山	◇登山道保全技術セミナー	登山道講習会
7月7日(火)	ユニ石狩岳	◇登山道安全技術セミナー	登山道講習会
7月9日(木)	トムラウシ山	◇登山道整備 ※カムイ天井付近	資材運び
7月27日(月)～ 28日(火)	雲の平	◇登山道補修作業	資材運び
8月1日(土)	高原温泉沼巡り コース	◇登山道整備	木道資材運び、ヒグマ生態観察
8月22日(土)～ 23日)	北海沢～北海岳	◇登山道補修作業	土留め作業
8月23日(日)	美瑛富士	◇維持管理支援	資材運び、設置
8月30日(日)	美瑛富士	◇登山補修セミナー	登山道講習会
9月上旬	然別湖	◇然別自然休養林登山道整備	笹刈り
10月上旬	ニペソツ山	◇登山道保全技術セミナー	登山道講習会
12月中旬	旭川市内	○表大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議
冬期	十勝管内	○東大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議

○：会議等 ◇：行事

2015 年登山道侵食調査

北海道大学大学院地球環境科学研究院・環境科学院

渡辺 悌二・小林勇介

登山道侵食調査に関わる調査を以下の 3 箇所で行う予定です。

【場所 1】姿見＝旭岳＝中岳分岐＝裾合平＝愛山溪・姿見

【時期】8 月末から 9 月末

【調査方法】コンパクトデジタルカメラを用いた写真測量。ルート上の約 60 カ所のポイントにて撮影を行います。撮影をする際は様々な角度から写真を多く撮る必要があり時間を要するため、登山者数がピークを過ぎた 9 月ごろに実施する予定です。また、撮影の際は周りの植生に害を与えないよう注意を払います。日程は天候が良好であれば 3 日ほどで終わる予定です。

調査者：北海道大学大学院地球環境科学研究院（渡辺，小林，石川，張）



【場所 1】の調査予定地域

【場所 2】北海岳＝北海平＝白雲分岐，および【場所 3】黒岳石室周辺

【時期】7 月末の平日（3，4 日間）および 9 月の平日（3，4 日間），ただし，天候で変更の可能性あります。

【調査方法】北海岳～北海平および黒岳石室周辺で，侵食されやすい堆積物の厚さ推定を行い，将来の侵食予測に繋がります。侵食されやすい堆積物の厚さの推定には，土壌のコンパクションを測定する「非破壊式」の測定装置 PANDA2 を用います。PANDA2 は通常，森林帯などで土層のコンパクション（圧密度）を測定するために開発された機械で，直径 1.5 cm ほどの金属棒を上からたたいて，その際の抵抗（地中への入りやすさ）から土層のコンパクションを計算します。侵食されやすい土層では数値が小さいのに対して，侵食されにくい（されない）層に達すると数値が非常に大きくなり，その差

から侵食されやすい堆積物の厚さの推定ができます。



PANDA2 の写真

PANDA2 の使用にあたっては、登山道表面で行うため、植生等への影響はまったくありません。登山道表面で直径 1.5 cm の小さな穴ができますが、すぐに埋まってしまうため、調査後に侵食を進める等の心配もありません。また、金属棒の上部には樹脂でできた「たたき場所」があって、掛け矢も樹脂でできているため、野生動物に影響を与えるような大きな音は出ません。なおこの機械はすでに台湾の雪霸国立公園において、登山道侵食の将来予測に使用された実績があります。

侵食されやすい堆積物の厚さがわかれば、過去の侵食速度をあてはめる（将来も同じ速度で侵食が生じると仮定する）ことで、今後、何年間その場所で侵食が継続するのか、その結果どれだけの深さの侵食が進行し続けるのかが予測できます。

また、ドローン（UAV）を用いた空中からの写真撮影を行います。ドローンを用いた空撮に関しては【場所 2】北海岳＝北海平＝白雲分岐では昨夏に一通り完了しているため、必要に応じて追加で撮影を行う予定で、【場所 3】黒岳石室周辺では天候などを見ながら撮影を行う可能性があります（実施しない可能性もあります）。閑散期の平日朝など、登山者の往来がないことを条件に行います。その他、風速毎秒 10m 以上の強風時には調査を見合わせます。調査時には最低 2 名配置し、登山者・野生動物の往来の確認といった安全確保に努めます。調査時に登山者の接近が確認された場合、ドローンを一時的に着陸させ、万が一の誤作動に備え電源を切ります。

調査者：北海道大学大学院地球環境科学研究院（渡辺，小林，石川，張）



【場所 2】および【場所 3】の調査予定地域（左：北海岳～北海平，右：黒岳石室）



登山者の排便で悪臭や汚染が心配され、植物の踏みあとが広がっています。

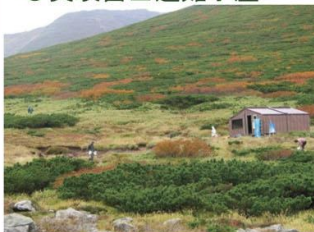
携帯トイレ用ブースを試験的に設置し、道内の山岳団体が結集して、共同で維持管理します。

美瑛富士では 携帯トイレ を使いましょう

使用方法

- ① 美瑛富士避難小屋の携帯トイレ用ブースを使ってください。
- ② 使用済み携帯トイレは、なるべく持ち帰ってください。持ち帰れない場合のみ白金観光センターに設置の回収ボックスをご利用下さい。
- ③ 登山口や避難小屋、公衆トイレ、ゴミ箱等に決して放置しないでください。

●美瑛富士避難小屋



●白金観光センター



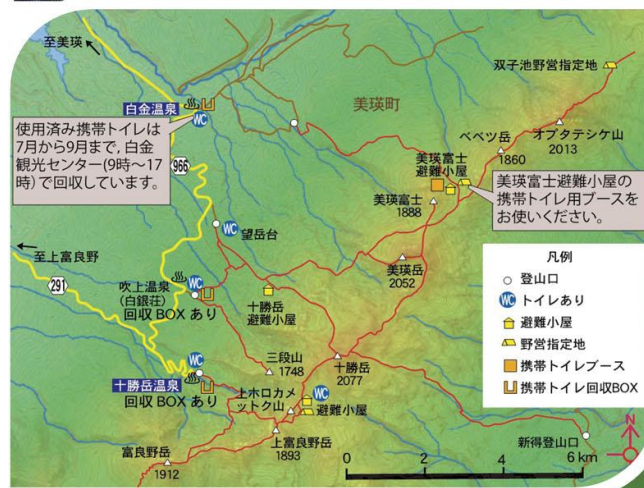
●携帯トイレ回収ボックス



●携帯トイレ用ブース



●携帯トイレの購入場所・詳しい使用方法是ホームページ「山のトイレ」で検索！



山のトイレを考える会

環境省・林野庁・北海道・美瑛町・美瑛富士トイレ管理連絡会

山樂舎 BEAR

活動の予定

山岳環境保全講座

□講座 1

座学「登山道を考える」

8月20日(木) 17時 モンベル大雪ひがしかわ店2階

無料・予約不要

ゲスト：岸田春香さん(環境省東川自然保護官事務所)

私たち登山者がいつもお世話になっている登山道。一般の道路のように、登山道は国道や道道なのでしょうか?道が傷んだときは誰が修復しているのでしょうか?酷い登山道に対するクレームはどこへ?そんな素朴な疑問にお答えするとともに、トークゲストに環境省東川自然保護官事務所の岸田春香さんをお迎えし、「大雪山グレード」と「保全対策ランク」という新しい考え方を紹介します。

□講座 2

巡検「登山道の問題点を知る」

8月23日(日) 5時45分 旭岳ロープウェイ山麓駅集合

コース：旭岳～間宮岳～中岳温泉～姿見駅

¥3000(保険料込み・ロープウェー代別)

登山道はなぜ傷むのでしょうか?そして、どのように修復しているのでしょうか?実際に山を歩いて、登山道の侵食現場を見、道が傷んでいくメカニズムを探ります。さらに実際の修復現場を観察し、修復の効果と問題点を考えます。

※登山中級程度の体力が必要です。体調不良などによるリタイアは、ご自身で判断願います。

□講座 3

登山道保全技術セミナー「たまには山へ恩返し」

9月6日(日) 8時 旭岳ロープウェイ山麓駅集合

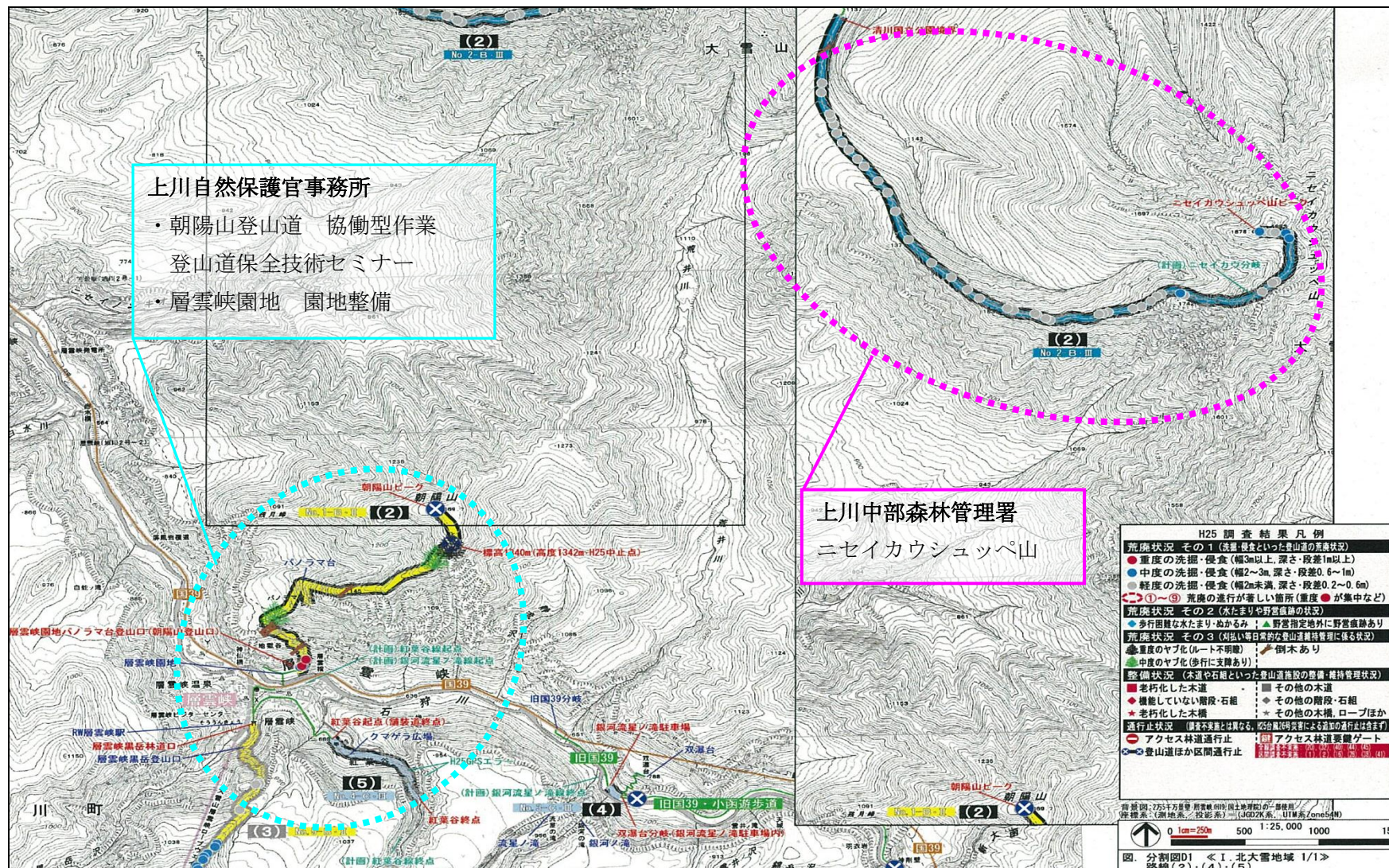
悪天時中止 無料(保険料・ロープウェー代込み) 要予約

講師：岡崎哲三さん(北海道山岳整備代表社員)

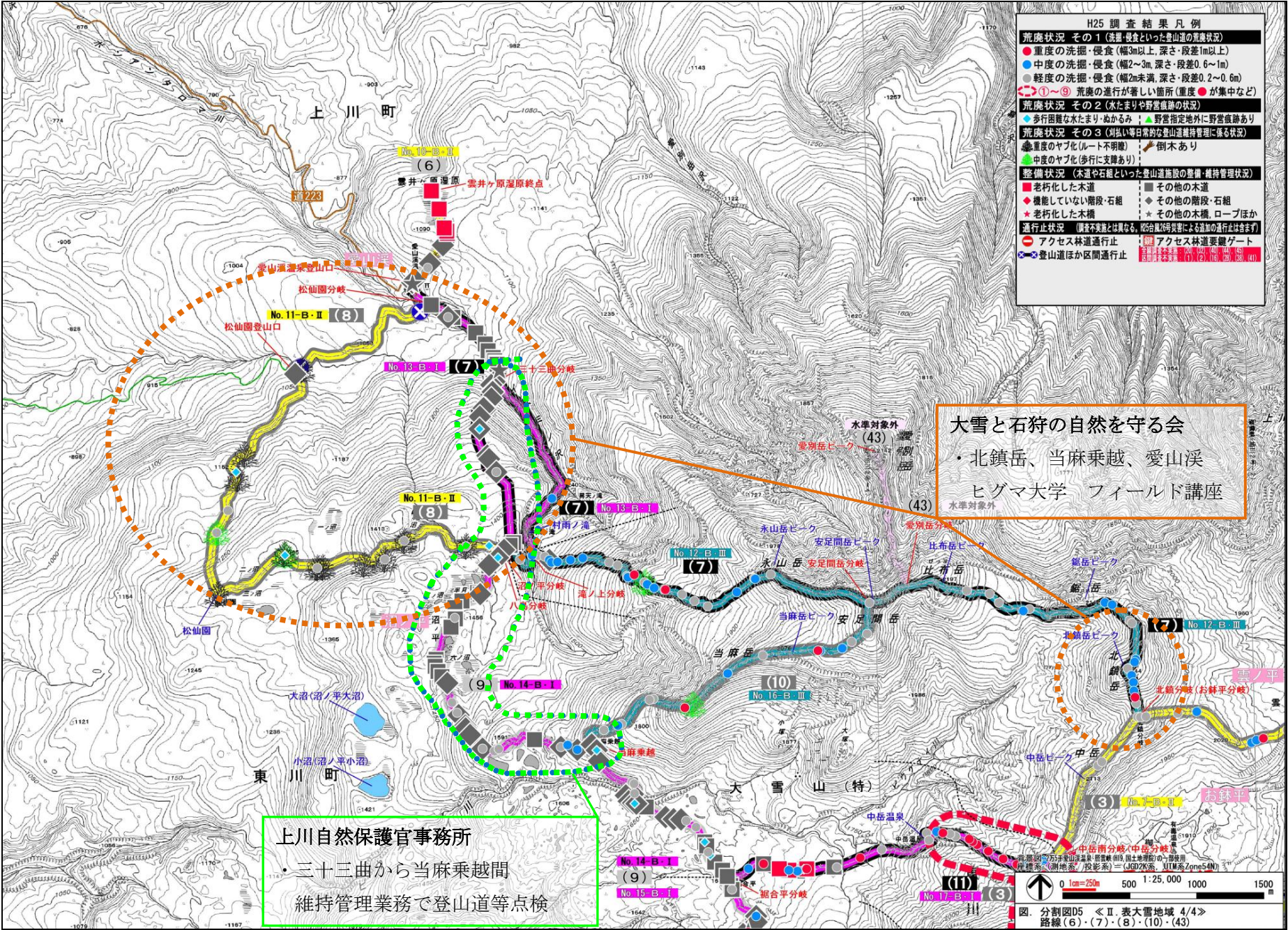
共催：北海道

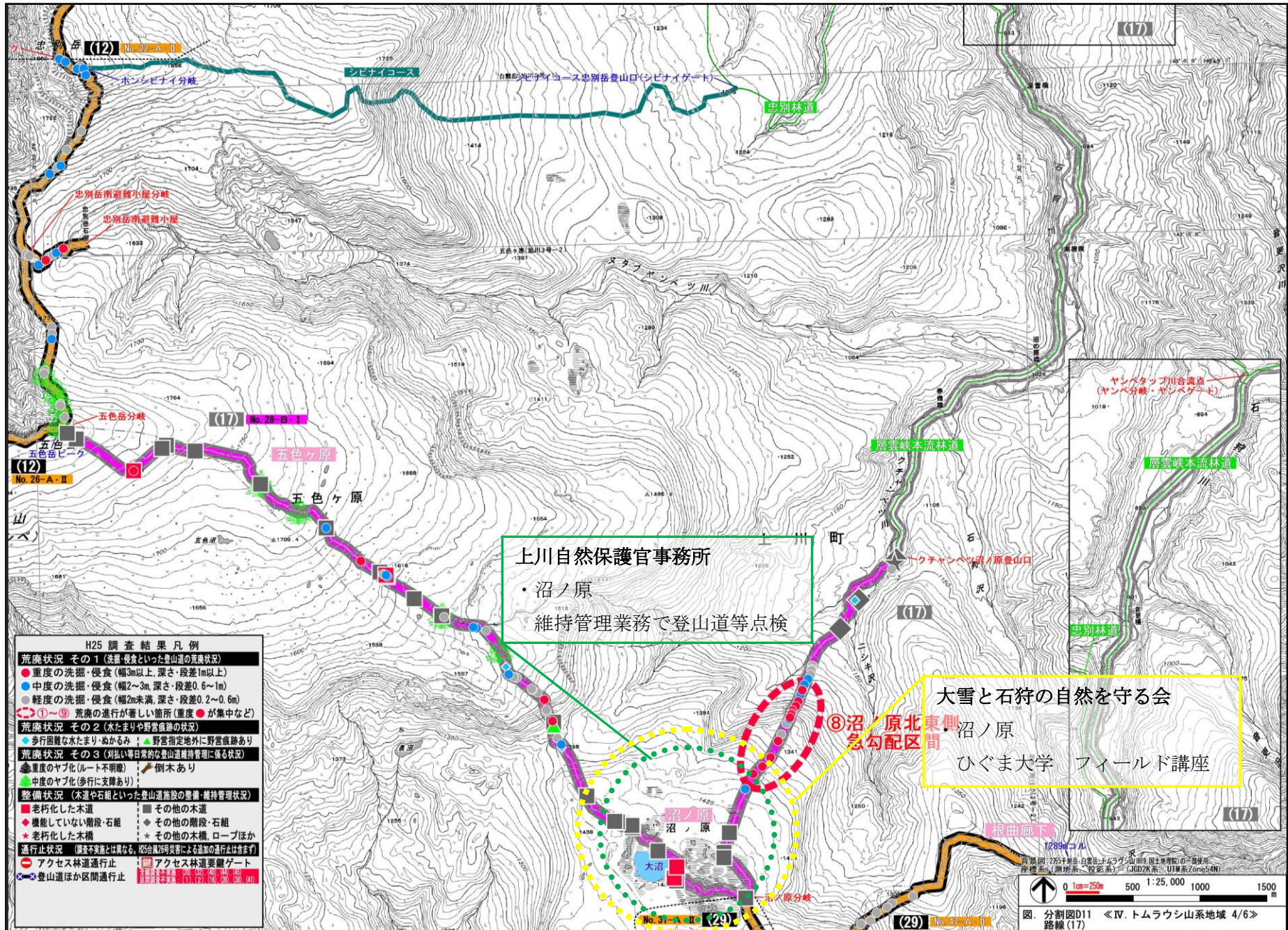
助成：旭岳ファンクラブ環境保全基金

自然環境が厳しい大雪山では登山道は放っておけば壊れるため、維持管理が必須です。実際に「道直し」を体験し、いつもお世話になっている山へ“恩返し”してみませんか。講師には、登山道整備の第一人者・北海道山岳整備の岡崎哲三さんをお迎えします。

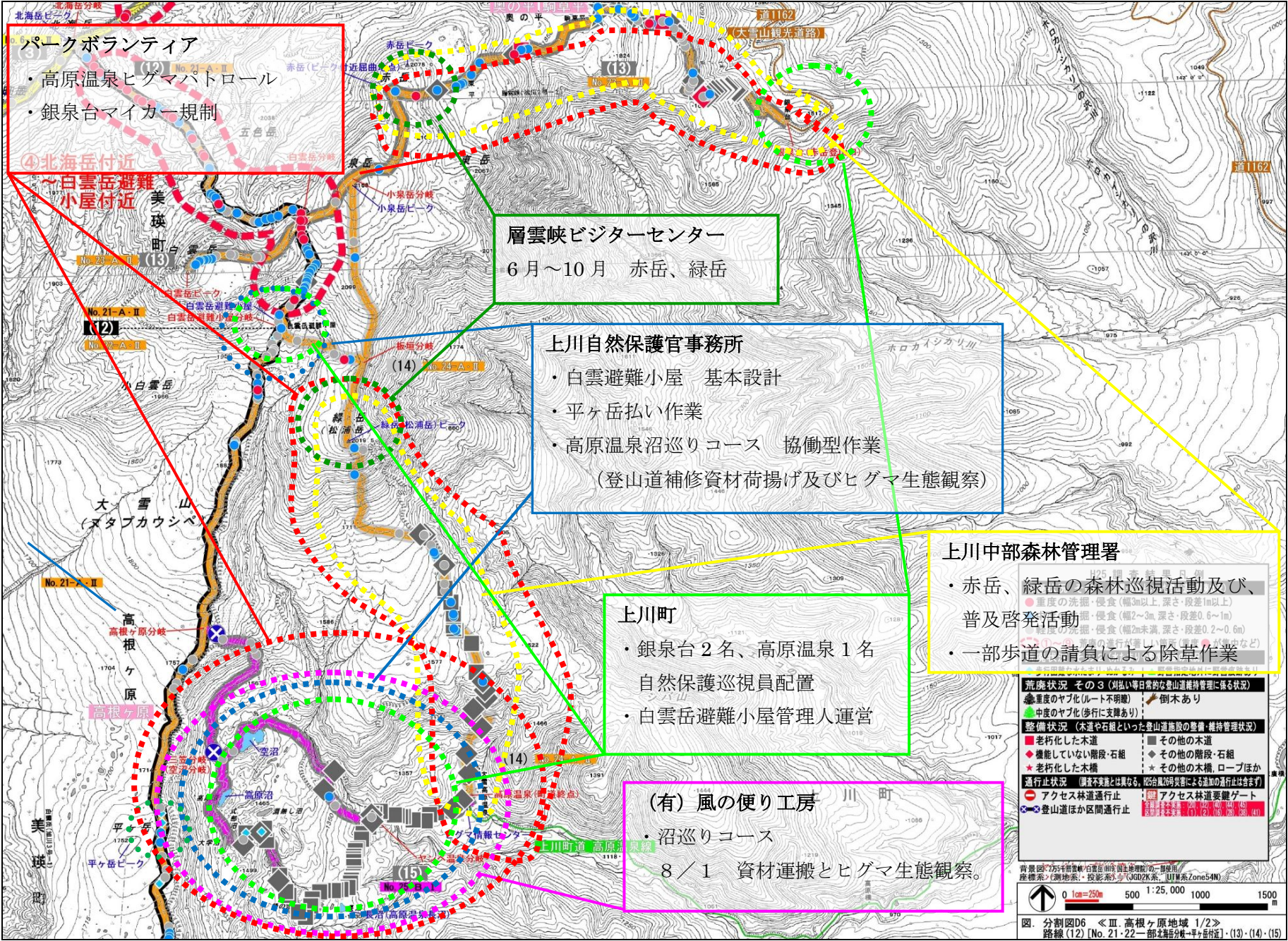


平成 27 年度 愛山溪地区周辺 作業箇所

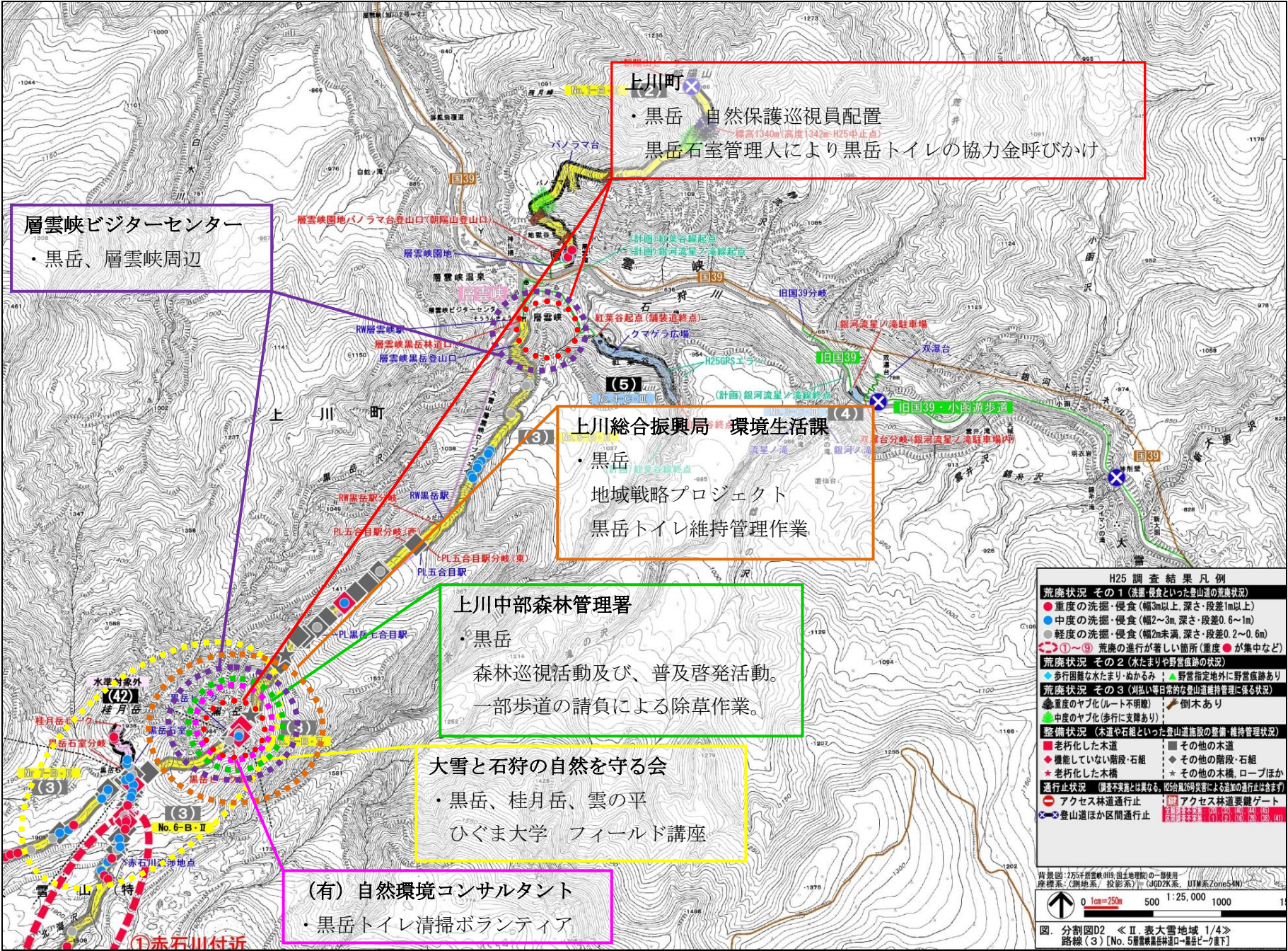




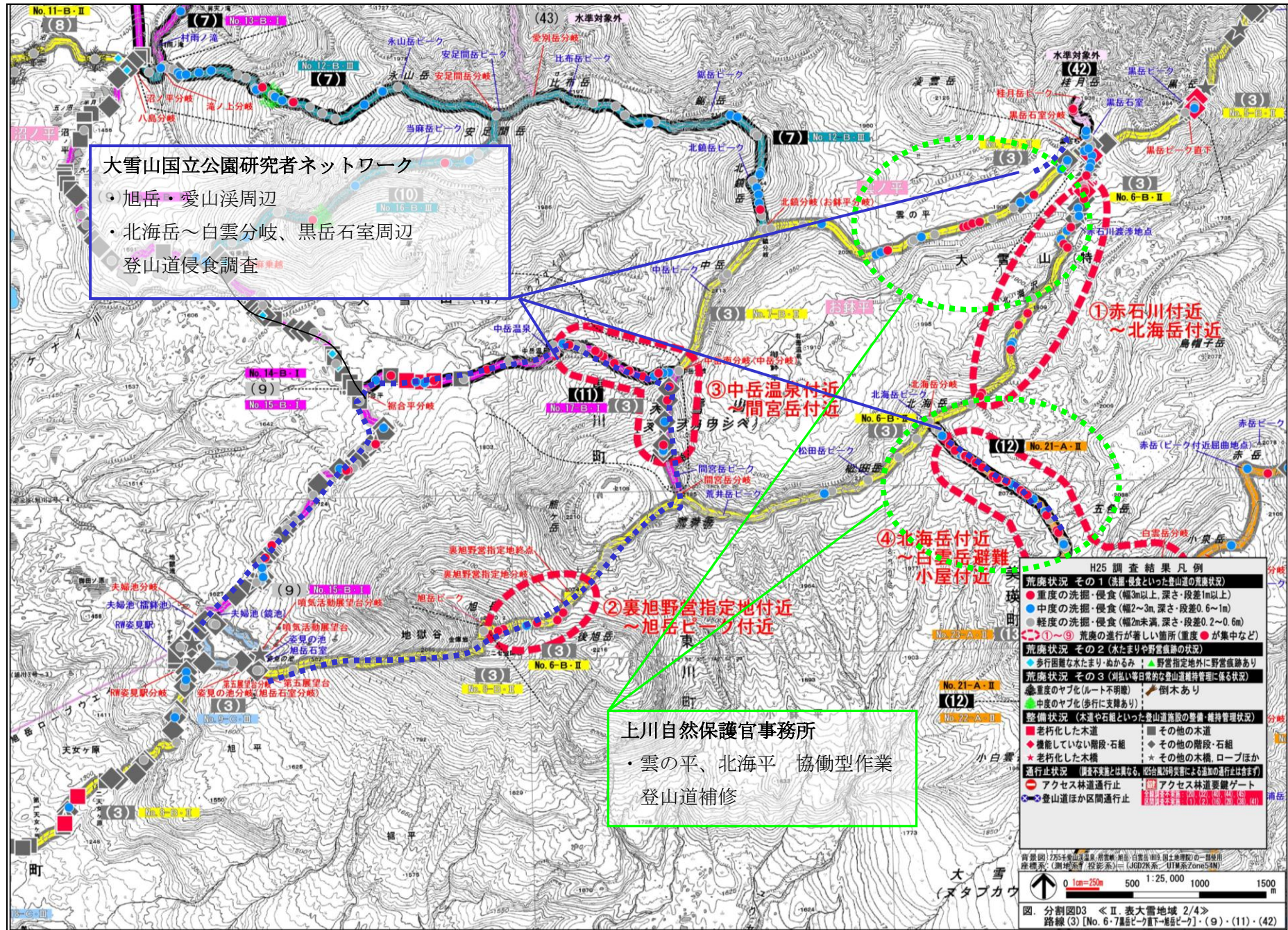
平成 27 年度 白雲避難小屋・高原温泉地区周辺 作業箇所

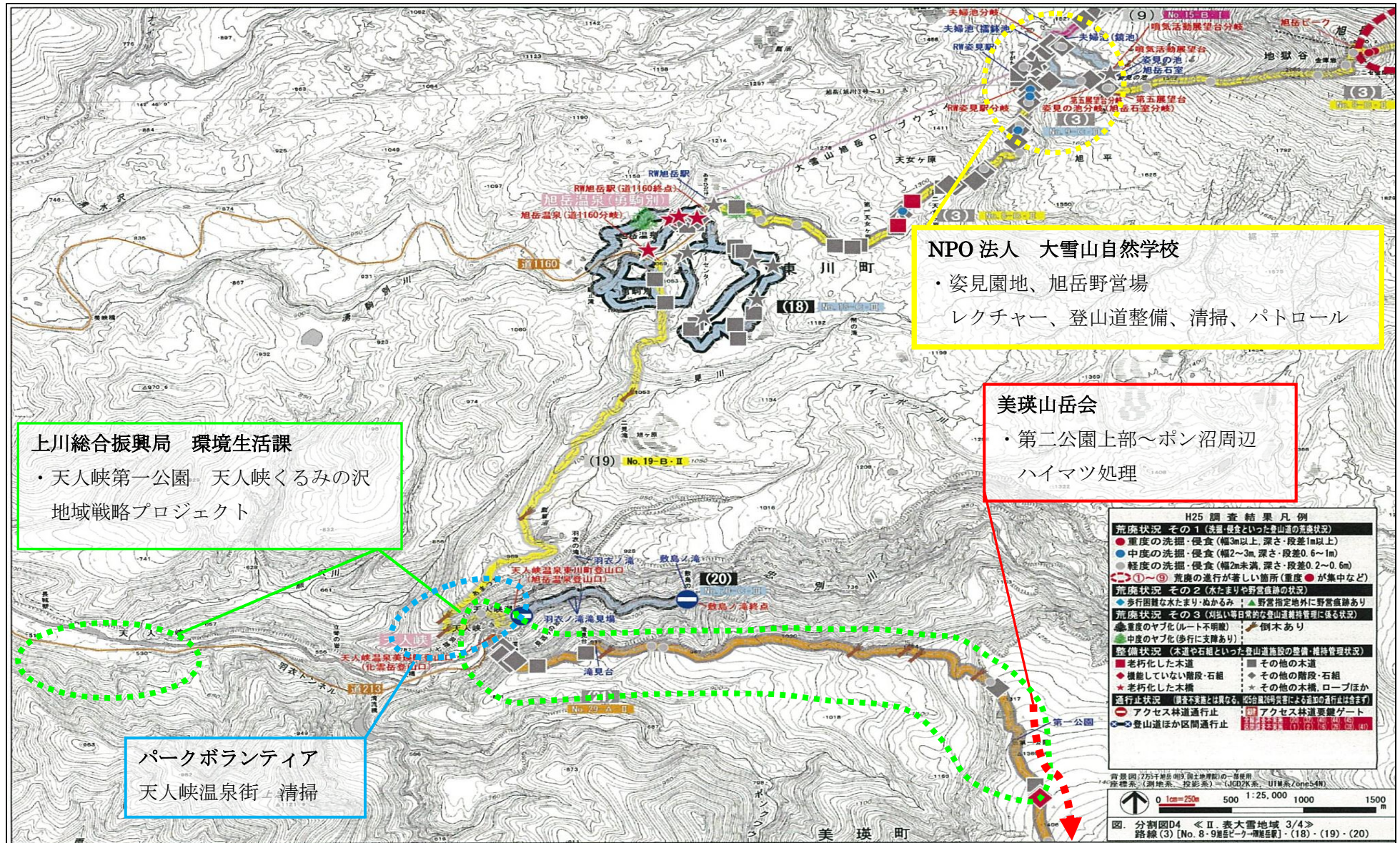


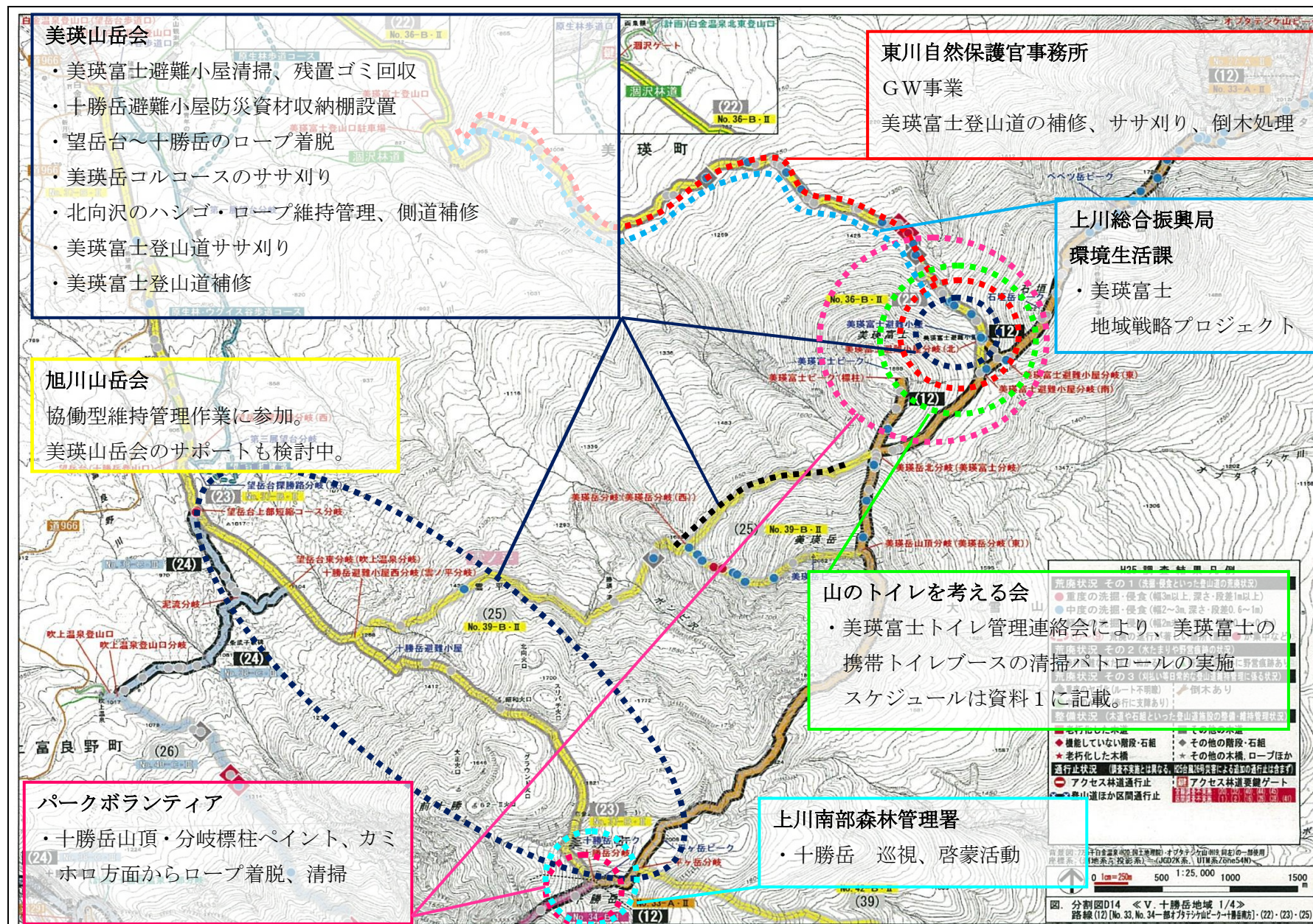
平成27年度 層雲峡地区周辺 作業箇所

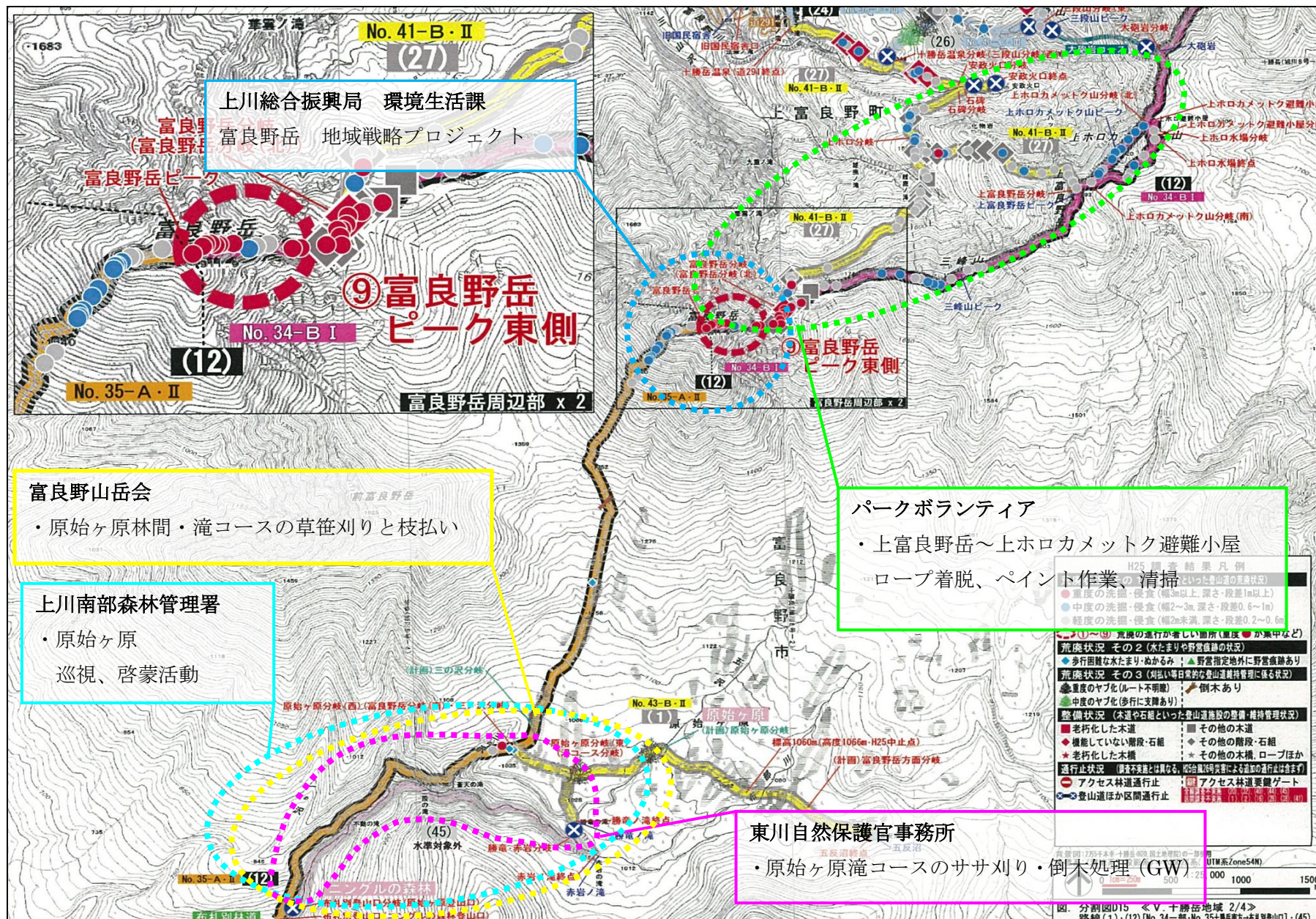


平成 27 年度 雲の平・北海平 地区周辺 作業箇所

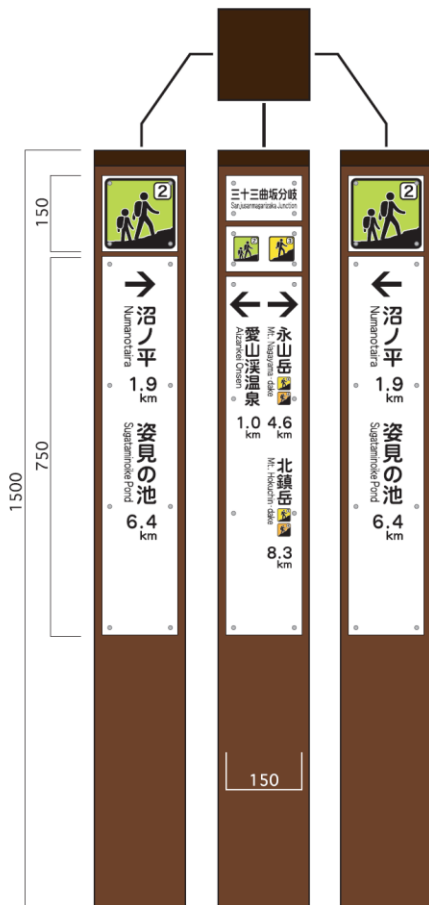




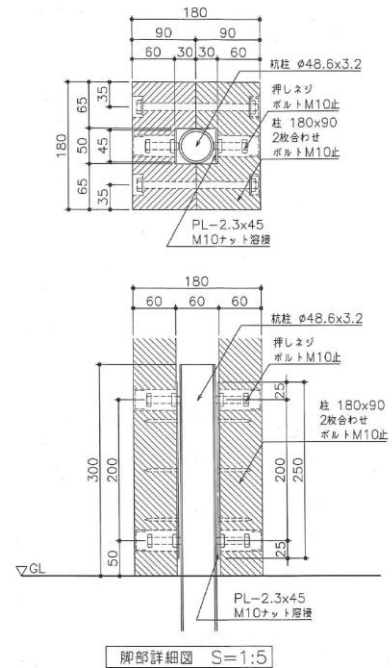
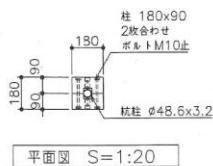
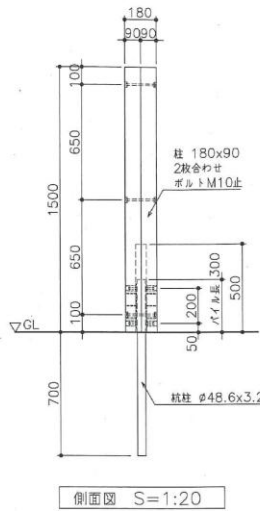
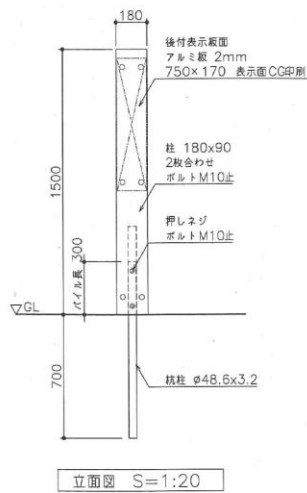
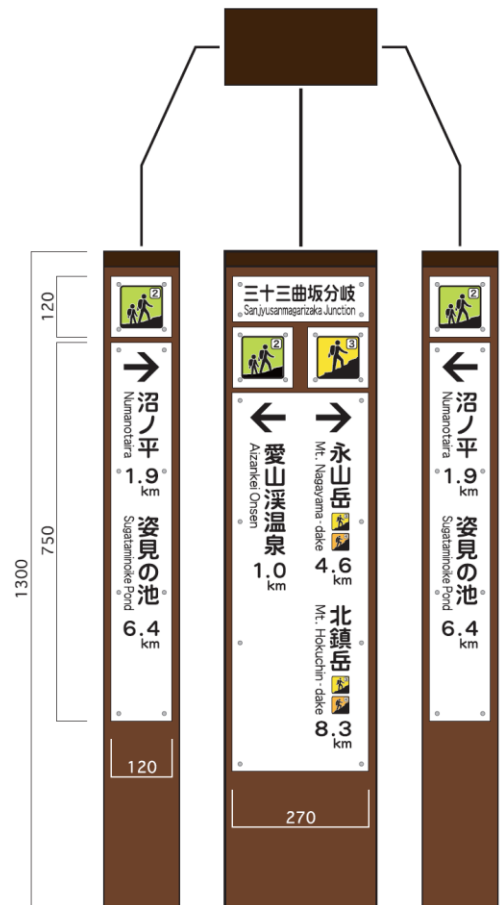




1 案



2 案



特記事項

木材	木材は杉材（角材はプレ加工）を使用する。	鋼材	鋼材は国産無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
ボルト類	ボルトは最新法に適合するように天然、又は人工乾燥処理を行う。	ボルト類	ボルト・コーチスクリューは、国産無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
木材	木材は全て加工後、AZNA（ヤマトECO30）木材保存剤を加圧注入処理する。	木ねじ類	木ねじ類は、国産無き限り、ステンレスとする。
加工注入方法はJIS A 9002による。		底層	見え隠り（木材表面）のPM、フタ材は国産無き限り底層内に納める。
本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。		見え隠り	見え隠りの処理は、シリコンキャップをつける。
保存処理の仕様はJAS K4相当、又は、AQ認証取得工場（1箇所以上）とする。		製品保証	製品保証は2年、木部の腐朽に限り5年の保証とする。
保存処理木材は国土交通省新技術振興促進システム（NETIS）登録品とする。		本製品は	本製品は（一社）日本公園遊歩道協会が認定した製品である。
木材の見え隠り部は型枠を行なう。		本製品は	本製品は（一社）日本公園遊歩道協会が認定した製品である。
木材の見え隠り部は木材表面保護塗料（サードコート）を塗布する。		製品表示	製品表示は、SPL製造表示の表示を行う。
柱の断面厚は上30cm程度の範囲にサンプレザー（OG）塗布とする。		設計条件	設計条件や商品改良によって変更を要する場合がある。
		本製品の	本製品の縦尺はA4用紙サイズによるものとする。

大雪山グレード (利用体験ランク)



平成 27 年度 大雪山国立公園内
登山道補修（一般登山者参加型）スケジュール

大雪山登山道の荒廃箇所を補修する一般登山者参加型の企画を実施する。
参加者負担：交通費、宿泊費、食費、保険代等（手弁当）

上川自然保護官事務所管内

A. 主催（予定）：上川自然保護官事務所、上川中部森林管理署、上川総合振興局
共催（予定）：上川地区登山道等維持管理連絡協議会、大雪山国立公園連絡協議会

1. 登山道保全技術セミナー

場所：朝陽山登山道（共同アンテナ下付近） 集合場所：層雲峡園地
日程：6月23日（火）（予備日：6月25日（木））
講師：北海道山岳整備 岡崎氏（予定）
概要：登山道の段差解消処理方法の技術指導・研修
資材：付近の倒木・枯損木及び転石の使用

2. 雲の平 登山道補修作業

場所：雲の平 集合場所：黒岳ロープウェイ駅
日程：7月27、28日（月、火）
指導：グリーンサポートスタッフ
概要：破損した土嚢の積み直し作業
資材：耐候性土嚢袋、鉄杭、板材
協力依頼：黒岳石室、7合目、RW 駅への資材の一時保管
宿泊：7月27日（黒岳石室）

3. 高原温泉沼巡りコース 登山道荷上げ登山及びヒグマ生態観察

場所：高原温泉沼巡りコース 集合場所：高原温泉ヒグマ情報センター
日程：8月1日（土）
引率：高原温泉ヒグマ情報センター監視員
概要：木道資材の荷上げ及び高根ヶ原東斜面のヒグマ生態観察
資材：木材

4. 北海沢上 登山道補修作業

場所：北海沢～北海岳間 集合場所：黒岳ロープウェイ駅

日程：8月22、23日（土、日）（予備日8月29、30（土、日））

指導：北海道山岳整備 岡崎氏（予定）

概要：洗掘した登山道の土留め作業

資材：ヤシガラ繊維、ヤシガラ土嚢袋、テンサー

協力依頼：黒岳石室、7合目、RW 駅への資材の一時保管

宿泊：8月22日（黒岳石室）（予備日8月29日）

B. 上川自然保護官事務所主催事業

1. 沼の平 荷上げ登山&植生復元作業

場所：愛山溪～沼の平 集合場所：愛山溪倶楽部前駐車場

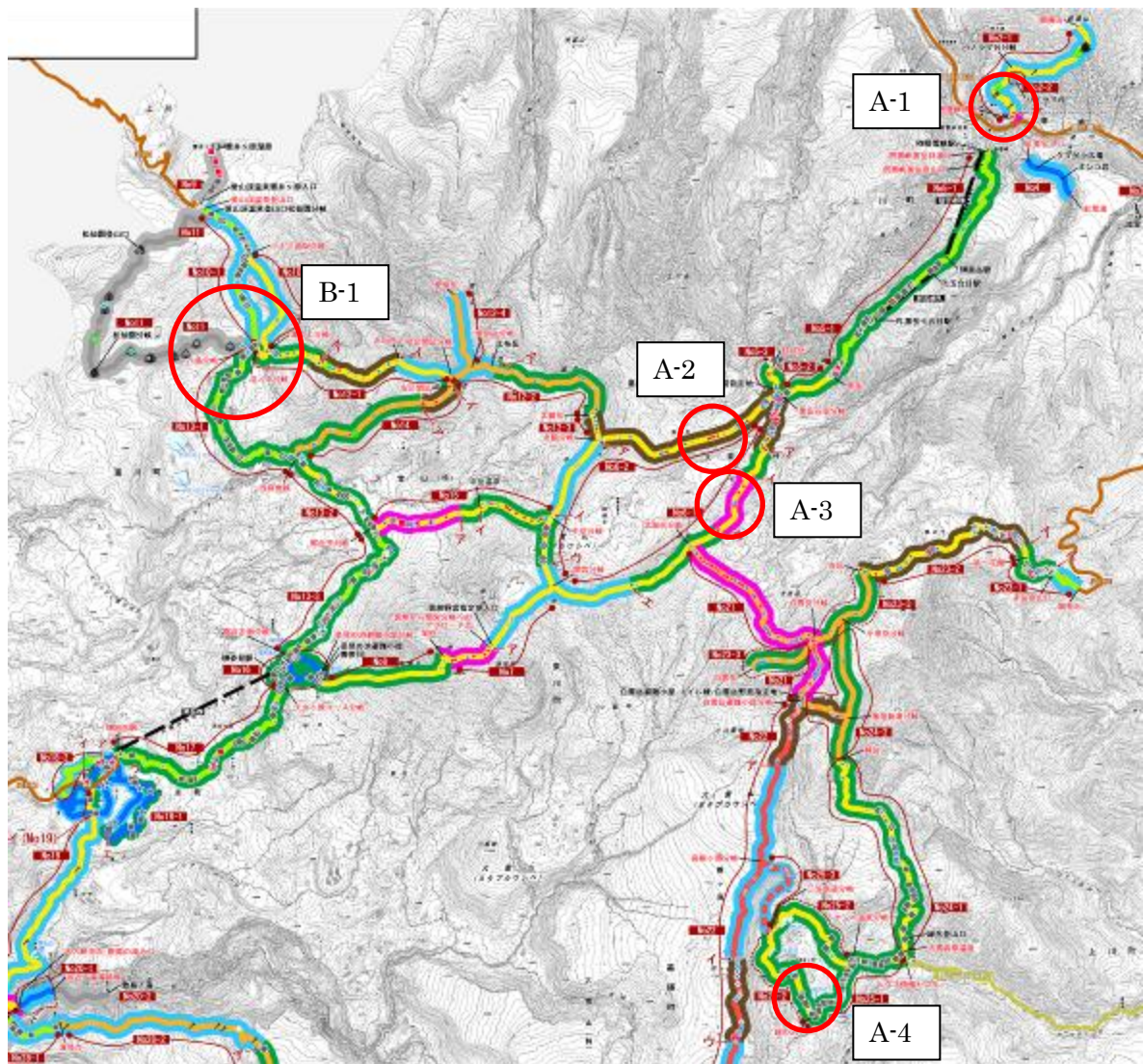
日程：9月13日（日）

指導：北海道山岳整備 岡崎氏

概要：洗掘した登山道の土留め用資材の運搬、沼の平の湿原植生再生作業

資材：木材、ムシロ、木杭

協力依頼：愛山溪への資材の一時保管



東川自然保護官事務所管内

1. 登山道補修セミナー

主催：大雪山国立公園連絡協議会

場所：枯沢林道～美瑛富士避難小屋間 集合：美瑛富士登山道入口（予定）

日程：8月30日(日) **※23日から30日に訂正**

講師：北海道山岳整備 岡崎氏

資材：木材等

概要：平成26年に美瑛富士登山道に設置した段差工（木材・石材使用）を対象に、PDC
Aサイクルの実践を行う

2. 登山道補修の資材荷上げと設置

主催：環境省 東川自然保護官事務所（グリーンワーカー事業）

場所：美瑛岳分岐（望岳台から上がりポンピ沢を越え、美瑛岳と美瑛富士の分岐周辺）

集合場所：望岳台（予定）

日程：8月23日(日) **※30日から23日に訂正**

講師：北海道山岳整備 岡崎氏

資材：木材、鉄ピン、テプサー、ヤシ土嚢、ヤシ繊維等

概要：荒廃している登山道に設置するための登山道補修資材の運搬と、それらを用いた段差
工等の設置を行う

3. 環境保全登山「たまには山に恩返し」（登山道保全技術セミナー）

主催：山楽舎BEAR、上川総合振興局 環境生活課

場所：旭岳姿見園地 集合場所：旭岳ロープウェイ山麓駅（予定）

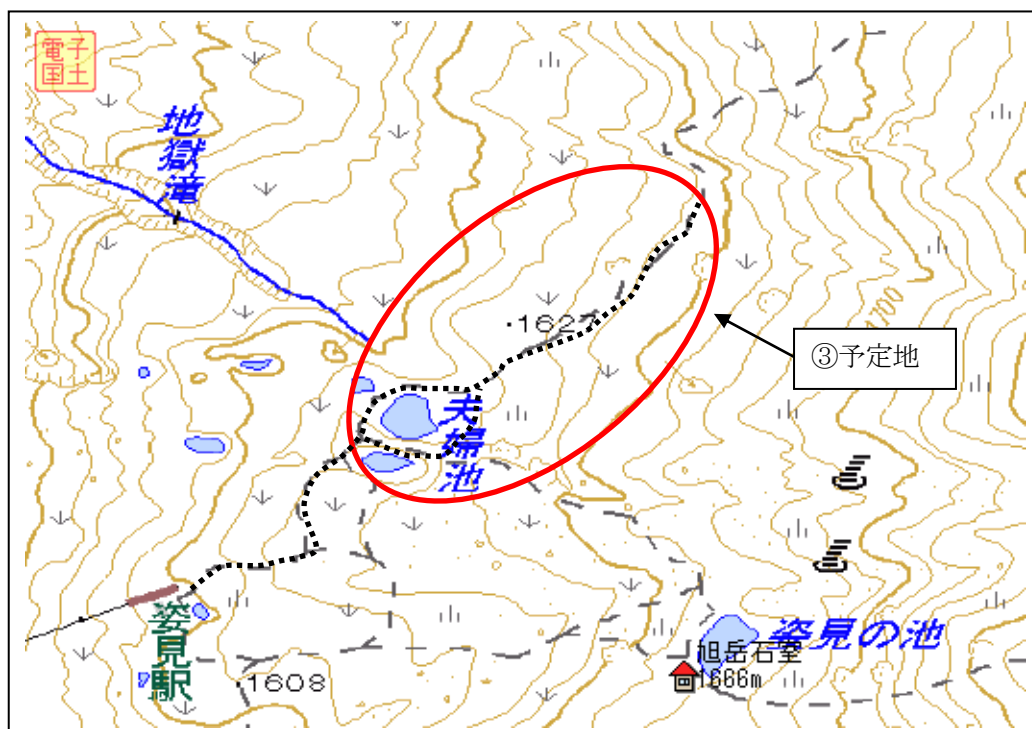
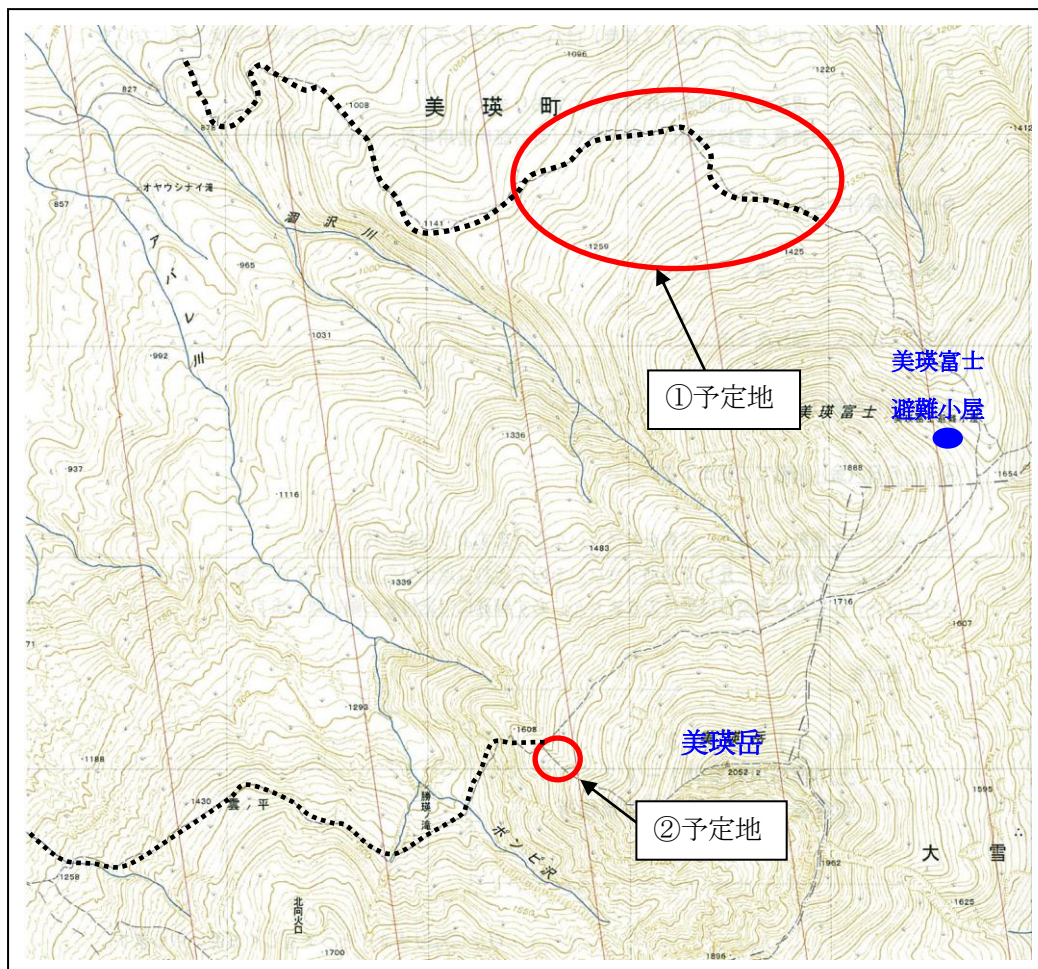
日程：9月6日(日)

講師：北海道山岳整備 岡崎氏

資材：木材、石材等

概要：姿見園地周辺の高い段差を解消するため、木材や石材を用いた段差工等を設置する

※ 2、3の参加者については、保険代は主催者にて負担いたします。



上士幌自然保護官事務所管内

1. 登山道保全技術セミナー

主催（予定）：上士幌自然保護官事務所

共催（予定）：大雪山国立公園連絡協議会

場所：ニペソツ山登山道 集合場所：ひがし大雪自然館または十勝三股

日程：10月5日（月）～9日（金）のうち1日

講師：北海道山岳整備 岡崎氏（予定）

概要：登山道の既存整備箇所への修繕、段差解消処理方法の技術指導

資材：付近の倒木・枯損木及び転石の使用

2. ユニ石狩岳 登山道維持管理作業

主催（予定）：上士幌自然保護官事務所

共催（予定）：ひがし大雪自然館維持管理協議会

場所：ユニ石狩岳（登山口から1時間以内まで）

集合場所：ひがし大雪自然館または十勝三股

日程：7月7日（火）

指導：ひがし大雪自然ガイドセンター

概要：ササ刈り、倒木処理作業

3. トムラウシ山 登山道荷上げ登山

主催（予定）：新得地区登山道維持管理連絡協議会

共催（予定）：上士幌自然保護官事務所

場所：トムラウシ山 集合場所：短縮コース登山口

日程：7月9日（木）または13日（月）

引率：新得山岳会（予定）

概要：木道資材の荷上げ

資材：長さ60～120cmの丸太、角材

4. 然別外輪山 登山道維持管理作業

主催：然別自然休養林保護管理協議会

共催：上士幌自然保護官事務所

場所：然別外輪山すべて

集合場所：然別湖畔園地（車輦は公共駐車場）

日程：5月25日（月）～6月19日（金）までの5日間

概要：ササ刈り、倒木処理等



